

役割

コミュニティ・ヘルス要員は、日赤の技術支援を受けながら緊急および非緊急の状況下で、ターゲット地域において人々の健康状態の維持向上を目的として現地赤十字・赤新月社（現地 RC）のスタッフと協同し支援提供をする。特に、脆弱なグループ（5 歳未満の子供、女性、高齢者など）の特定のニーズに留意し、活動の優先順位を決定する。

活動にあたってはコミュニティグループ（コミュニティリーダー、女性グループ、保健スタッフなど）や保健省、NGOs、UNs などの利害関係者間の円滑なコーディネーションを実施し健康問題に取り組む。

また、IFRC やその他の国際的な機関が開発・報告している手法などを用いて根拠に基づく計画を立案する。さらに、実施される活動は適切にモニタリング、評価を行い柔軟に改善していく役割がある。

職務と責任

- ・ 給水・衛生、シェルター、生計、減災など、現地 RC 組織開発分野と連携しながら、現地 RC 社のアセスメント、活動計画立案を支援する。
- ・ 現地 RC のカウンターパートと共に、ターゲット地域のアセスメントを踏まえ、地域の健康ニーズに対応する事業提案書、活動計画立案と実施、モニタリング、評価を行う。
- ・ 活動方針と手順の遵守により確実に目標達成を目指す。
- ・ 費用対効果を分析し、説明責任を果たすことにより健全な事業運営を行う。事業予算を管理し、支出に関する懸念事項を報告する。
- ・ 正確でタイムリーなデータ収集により、予算執行報告ならびに活動報告を定期的に提出する。
- ・ 現地の状況に CBHFA などのガイドラインを適合させ、標準化した地域保健活動の実施に貢献する。
- ・ 現地 RC 社のさまざまなレベル・職種と密接に関わり、現地 RC スタッフとボランティアが地域保健事業を効果的に実施するのを支援する。
- ・ 他の姉妹社との活動調整を図る。
- ・ 現地で活動している姉妹社を含むヘルsteam と戦略的な計画立案とレビューに貢献する。その際、分野横断的な問題が活動計画に盛り込まれ、実施されるようにする。
- ・ IFRC を含む国際機関の技術文書を尊重し、グローバルなヘルスアジェンダの対策に貢献する。
- ・ 現地保健省と制度的、技術的調整と協力を行う。
- ・ 現地 RC が効果的に他の利害関係者や政府機関、コミュニティグループなどと連携するよう支援する。
- ・ 活動国および地域におけるヘルスシステムを理解し、適切にリファラルシステムが活用できるよう支援する。
- ・ 派遣期間中に災害が発生した際は、要請に応じて救護活動に参加する。

- 専門的な助言が必要な際は適宜支援を求め、円滑に事業が遂行できるよう取り組む。

すべての要員に適用される義務

1.	「IFRC's strategy 2030」の目標達成に向けて積極的に取り組む
2.	赤十字の原則に従って行動する
3.	ラインマネジャーに指示された関連する業務の義務と責務を実行する
4.	自己の心身の健康管理を行い、必要時は支援を依頼し、業務が遂行できるよう努める

職務要件

教育	必須	望ましい
公衆衛生または地域保健分野の修士号または同レベル教育		x
経験	必須	望ましい
日本赤十字社組織で5年以上勤務経験	x	
国際派遣経験		x
参加型地域保健活動のアプローチの知識を活用した派遣経験		x
緊急時と非緊急時の状況下で、受益者、特に女性と子供、その他の脆弱なグループと効果的に関わった経験		x
事業計画立案・モニタリング・評価、予算管理の経験		x
ナラティブレポート作成の経験		x
知識・技術	必須	望ましい
Word processing, Excel processing, Power Point などのアプリケーションが自立して使える	x	
スタッフトレーニング、成人教育のスキル	x	
連絡調整やネットワークづくり		x
言語	必須	望ましい
英語による高い会話能力と筆記能力	x	
別の RC 公用語（フランス語、スペイン語、またはアラビア語）を上手に使いこなす		x